

あとがき

国立学校財務センターの研究部は各方面の専門家の方々のご協力を得て、1995年11月以来、1999年3月に至るまで高等教育の財政・財務及び計画などに関する研究会をほぼ毎月開催してきた。

ご多忙の中をご来駕戴いた講師の方々及び熱心にご聴講下さった皆さんのおかげで、研究会の開催回数も33回を数え、ご講演戴いた方も50名を越えるに至った。その間に“仕事の関係で講演は聴けなかったが、是非その内容を知りたい”。あるいは“せっかくの講演内容を少数者だけのものにしておくのは惜しい”など、講演内容の公開を望む声が各方面から寄せられるようになった。実際、ご講演はそれぞれユニークで優れたものであり、中には他では聴けないような貴重な内容のものも少なくなかった。

そこで、これまでの講演を内容別に整理した上で、講演録として逐次公刊し、大方のご希望に応えることにした。『大学の財政と設置形態』と題して刊行した第Ⅰ集は大学の設置形態と財政の関係及び高等教育財政の現状に関する講演を中心に、また『高等教育財政の国際比較』と題した第Ⅱ集は外国の高等教育財政及び教育費負担の現状分析に関する講演を中心に収録している。

今回の第Ⅲ集は『私立大学の経営と国立学校特別会計』を主題としているが、「第Ⅰ部 私立大学の経営と財務」、「第Ⅱ部 国立学校特別会計制度」からなり、10人の方のご講演内容を収録している。私立大学と国立大学の財務は、共通する面と異なる面を有しており、それらについて理解を深めることは双方にとって有意義であろう。

それは直ちにそれぞれが当面する問題を解決することにはつながらないにしても、問題分析の手掛かりにはなろう。本講演録が少しでも高等教育の財政及び財務に関心をもたれる読者各位のお役に立つことができれば幸いである。月例研究会の企画運営に携わった者として、第Ⅰ集、第Ⅱ集に引き続き、第Ⅲ集の印刷刊行が実現をみたこと喜びとしたい。

公刊に当たっては講演のテープを活字にしたものを当センターで校正したものについて講演者のご校閲を戴き、誤りなきを期した。ご多忙の中、ご校閲の労をとられた講演者各位に改めてお礼申し上げたい。本講演録の刊行は当センター管理部をはじめ印刷業者の方々など関係各方面のご協力をえたことについて深く感謝の意を表したい。特に校正については前回に引き続き大学評価・学位授与機構助教授吉川裕美子氏に御助力をお願いした。同氏の献身的なご助力に心よりお礼申し上げる。

2001年1月

国立学校財務センター研究部教授 市川昭午